

鬼のはなし

〈書き下ろし〉

女 「いかに客人、お待ちください、お待ちください」

月かげ寒きこの夕べ

女 花が咲くとて何おもしろい

わたしの心は病んでいる

友なし 財なし ほのかなる

恋のひとつがあるばかり

男 ほろぼす女よと

占うらのことばがわれを刺す

つたなき運きずなの絆切る

ために残るは生か死か

いつそ鬼ともなつてしまおか

男 聞き覚えあるその声こそは

やむにやまれず 別れた人の

あのととき少しの勇氣ありせば

長の年月 思いまそおの糸繰り返し

昔を今になさばやとて

女・男 鬼ごとの 鬼となりたや

鬼となりて あの人を追ひ

あの人のみを 追ひ

鬼ごとなれば 鬼にてあれば

あの人を抱きすくめん